

4、勃起障害 ED

勃起障害 ED の患者さんの実例です。

〔症例〕45歳の男性が最近ペニスが勃起しない、と訴えて来院しました。体格が良く、肥満気味で、会社の中間管理職で、仕事は多忙で休日もゴルフなどで外出することが多くストレスが多い方です。会社の健診では糖尿病はありません。便秘、肥満があり、肋弓下の抵抗感があります。漢方的には実証という状態です。実証に用いる大柴胡湯を服用していただきました。休日はできるだけ体を休める様にお話しました。漢方約を服用して5日後に妻とのセックスが可能となったということです。その後の経過は良好です。

勃起障害 ED とは満足な性行為を行うのに十分な勃起が得られないか、または維持できない状態と定義されています(日本性機能学会・日本泌尿器科学会編『ED 診療ガイドライン 第3版』)。ED は、患者である男性のみならずパートナーの生活の質 QOL をも著しく低下させる可能性のある病態です。1998年に行われた疫学調査によれば、わが国の有病者数は、中等症・重症 ED の患者を合わせて約 1130 万人と推定されています。主訴が ED であることを確認後、糖尿病などを除外することは重要です。

〔漢方の治療〕

虚証と実証を区別します。第1 選択薬は、桂枝加竜骨牡蛎湯です。体力がある場合（実証）は、大柴胡湯を用います。虚証には桂枝加竜骨牡蛎湯、八味地黄丸を用います。

表 勃起障害に用いる漢方薬

体力がある場合（実証）

- ・大柴胡湯・実証で便秘、肥満、肋弓下の抵抗異常感のある時に用います。

体力がない場合（虚証）

- ・桂枝加竜骨牡蛎湯・陽証で虚証の時に用います。

・八味地黄丸・陰証で虚証の時に用います。

治療方針 – 参考までに現代医学的治療も述べます。

治療の中心はバイアグラなどの PDE5(phosphodi-esterase type 5)阻害薬です。通常量より開始し無効であれば増量します。

陰莖硬度は一時的挿入は可能であるものの、勃起持続しないなど、いわゆる「中折れ」状態である場合は、

1、バイアグラ 50 mg錠(シルデナフィル)、またはレヒドラ 10mg 錠(バルデナフィル、速効性)性交 1 時間前かつ空腹時、またはシアリス 10mg 錠(タダラフィル、長時間作用) 性交 1 時間前) 1 回 1 錠 1 日 1 回服用。人によっては、さらにその半量で有効な場合もあります。

2、軽症であれば通常量の PDE5 阻害薬で効果が認められますが、無効の場合、服用方法など適切に服用が行われているか、十分な性的刺激が得られているか、確認します。

バイアグラ 50 mg錠(シルデナフィル) – 最も知られている。25 mg錠、50 mg錠があり、性行為 1 時間前服用、空腹時服用なら 30 分で作用。食事の影響受けやすい。3～5 時間持続。

レヒドラ 10mg 錠(バルデナフィル) は速効性である。10 mg錠、20 mg錠があり、性交 1 時間前服用。空腹時服用なら 20 分で作用。食事の影響受けにくい。4～8 時間持続。

シアリス 10mg 錠(タダラフィル)は長時間作用。10 mg錠、20 mg錠があり、性交 1 時間前に 1 回 1 錠 1 日 1 回服用。食事の影響最も受けにくい。20～36 時間持続。

バイアグラ 50 mg錠、レヒドラ 10mg 錠、シアリス 10mg 錠は、当院で自費診療で処方可能です。